

# 平成28年度事業報告書

平成28年1月1日～平成28年12月31日

## 1. 第26回日米草の根交流サミット大会の開催 <定款上の該当条項:第4条>

**開催地** : ジョージア州アトランタ市を中心とした地域

**開催時期** : 平成28年10月4日(火)～10月11日(火) (6泊8日)

**参加者数** : 日本からの参加者 : 150名 (ホームステイを含む全日程参加は127名)

大会参加者総数 : 1,820名

(オープニング及びクロージングの式典、歓迎レセプションとフェアウェル・イベント、ホスト・ファミリー、ボランティア、支援者、15の地域分科会でのプログラム参加者等を含む)

**内 容** : 「第26回日米草の根交流サミット 2016 広域アトランタ大会」を2016年10月4日(火)から11日(火)にかけて計8日間、ジョージア州アトランタ市とその周辺14市で開催した。主催は、CIE、CIE-US、ジョージア日米協会。

### ●ジョージア州での受け入れ組織

草の根サミット受け入れにあたっては、ジョージア日米協会に依頼。同協会役員、ボランティア、また事務局が一丸となり準備を進めた。加えて、アトランタ総領事館の協力も厚く、ジョージアでの受け入れ決定にあたっては須永和男総領事が、また準備にあたっては後任である篠塚隆総領事がご尽力くださった。特に篠塚総領事からは地域分科会開催全市を巡り、協力をご依頼くださるなど、多大なご協力をいただいた。

### ●ローカル・ツアー (10月5日)

以下の3つのコースを提供。いずれも好評であった。

#### ①アトランタ中心街コース (約50名参加)

ワールド・オブ・コカ・コーラ、CNNセンター、ジョージア水族館を巡るコース。

#### ②公民権・人権を学ぶコース (約75名参加)

マーティン・ルーサー・キング牧師の生家、牧師の歴史地区、公民権運動の拠点となった教会などを見学。キング・センターでは、キング

牧師の子孫らの証言を直接聞くセミナーも提供。他に、カーター・ライブラリー、公民権・人権センターを訪問。

③名門会員制ゴルフ・クラブでプレーコース（7名参加）

PGA チャンピオンシップが終了したばかりの会員制ゴルフ・クラブ、イースト・レイクで、ジョージア日米協会の会員十数名とプレー。ゴルフを通じた日米交流の機会を提供。

●オープニング式典と歓迎レセプション（10月5日夕刻）

オープニング式典と歓迎レセプションは、宿泊ホテルである「ジョージアン・テラス」の真正面に建つフォックス劇場で開催。カシム・リードアトランタ市長、佐々江賢一郎駐米日本大使、篠塚隆アトランタ総領事、スザンヌ・バサラ米日カOUNCIL副会長などの挨拶の後、ペリー提督子孫のマシュー・ペリー博士、ホイットフィールド船長子孫のスコット・ホイットフィールド氏、万次郎子孫の中濱京氏が登壇。中濱家とホイットフィールド家の間での恒例の地球儀交換も行われた。最後に、主催者側として、グレゴリー・ボイコ CIE-US 理事長、河野雅治 CIE 理事長が関係者へのお礼を述べた。式典では、今年の大会でコロラドの生徒達を受入れた大分上野丘高校化学部生徒（TOMODACHI イニシアチブの助成金で参加）の自己紹介、また福島県川内村立川内中学校生徒による神楽「浦安の舞」も披露された。食事の合間には、ゴスペル音楽も演奏され、ディープ・サウスの雰囲気盛り上げた。

●地域分科会（10月6日～9日）

大会3日目の10月6日（木）からは、大会の中心部分である地域分科会が15市に於いて3泊4日で開催された。参加者達は、それぞれの分科会でその地域ならではの数々の文化交流を楽しみ、またホームステイでは温かなサザン・ホスピタリティに迎えられ、アメリカ南部の生活を体験することができた。

< 地域分科会 受け入れ市 >

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. ディケーター     | 2. マリエッタ      |
| 3. ローム&フロイド郡  | 4. ダーロネガ      |
| 5. ゲインズビル     | 6. エルバートン     |
| 7. アセンズ       | 8. ピーチツリー・シティ |
| 9. ニューナン      | 10. メーコン      |
| 11. コロンバス     | 12. ダブリン      |
| 13. フィッツジェラルド | 14. ロズウェル     |
| 15. アルファレッタ   |               |

上記受け入れ市のうち、ロズウェルは福島県川内中学校の生徒グループを、アルファレッタは福島県葛尾中学校の生徒グループを受け入れ、現地の生徒との特別交流プログラムを組んでもらった（川内中、葛尾中生徒の参加費の一部は東京倶楽部の助成金によるもの）。

また、メーコンは、現地での「青少年リーダーシップ・サミット」に草の根サミットを組み入れ、大分上野丘高校生のグループを受け入れた。加えて、ピーチツリー・シティーは川内中学校の教師を、ニューナンは葛尾中学校の教師を受け入れ、教育者用の特別プログラムを提供した。

### ● クロージング式典&フェアウェル・パーティー（10月9日）

地域分科会終了後、10月9日（日）には、巨大な一枚岩からなるストーン・マウンテン州立公園において、岩の側面に彫られた世界最大のレリーフや、山頂からの360度のパノラマを楽しんだ後、多くのホスト・ファミリーも加わって、戸外でクロージング式典とフェアウェル・パーティーを開催した。

式典では、篠塚隆総領事挨拶の後、福島県の川内中学校と葛尾中学校生徒による「花は咲く」合唱、葛尾中生徒による剣道演武も披露された。また、次年度の開催地である奈良県からは北河原公敬・東大寺長老が参加。奈良の魅力を紹介し、次年度大会への参加をホスト・ファミリーやボランティアに呼びかけた。

加えて、2018年度の開催が決定しているシアトルからワシントン州日米協会事務局長のデイル・ワタナベ氏が2年後の大会への参加を呼びかけた。

### ● ポスト・サミット・オプション・プログラム（10月10日～14日）

サミット終了後、オプションのプログラムとして、次の3つのプログラムを提供した。サバンナ以外は、地元のNPOに受け入れを依頼した。

- サバンナ 11名参加
- フェアヘイブン&ボストン 11名参加  
(協力：ホイットフィールド万次郎友好協会、ボストン日本協会)
- ダラス・フォートワース 7名参加  
(協力：ダラス・フォートワース日米協会)

## 2. 第27回日米草の根交流サミット2017奈良大会開催準備

平成29年度の第27回日米草の根交流サミット2017奈良大会開催について、以下のような準備を進めた。

開催地：奈良県下の9市町村

開催時期：平成29年6月26日(月)～7月3日(月)

共催団体：奈良県、CIE-US

地域分科会：以下の9市で10の分科会を開催することとし、準備を進めている。

1. 奈良市
2. 奈良市フレンドシップ・フォース
3. 曽爾村
4. 宇陀市
5. 桜井市
6. 高取町
7. 明日香村
8. 橿原市
9. 広陵町
10. 斑鳩町

オープニング式典：東大寺金鐘会館

歓迎レセプション：奈良ロイヤルホテル

クロージング式典：奈良春日野国際フォーラム”麓“ 能楽堂

フェアウェル・パーティー：上記“麓”の日本庭園（雨天の場合は屋内のホール）

オプションル・ローカル・ツアーズ：

大会2日目には以下の4つのローカル・ツアーのコースを準備。いずれのツアーも、最後には東大寺見学を追加する。（東大寺・金鐘会館でオープニングを予定しているため）

- A. 「法隆寺と春日大社」コース
- B. 「大神神社、今西酒造、麵ゆう館」コース
- C. 「長谷寺と橿原神宮」コース
- D. 「依水園、奈良奥山ドライブウェイと春日大社」コース

大会終了後のポスト・サミット・オプションル・プログラムには下記5プログラムを設定：

- ① 京都ホームステイ2泊と東京1泊  
(協力:中山貴恵 CIE 顧問)
- ② 金沢ホームステイ2泊、能登ホームステイ1泊と東京1泊  
(協力:魚岸志乃富 CIE 顧問)
- ③ 京都フリー3泊
- ④ 大阪フリー3泊

⑤ 東京フリー3泊

### 3. 第28回日米草の根交流サミット2018シアトル大会開催準備

平成30年度の第28回日米草の根交流サミット大会を、米国ワシントン州シアトル市とその周辺都市で開催することを決定し、以下の準備を行った。

開催時期：平成30年9月とする（詳細日程は調整中）

共催団体：ワシントン州日米協会

オープニング式典：アーゴシー・クルーズ船上（予定）

歓迎レセプション会場：ブレイク・アイランド（予定）

### 4. 情報の発信

- 1) ニュースレター「草の根通信」を年度内に4回制作。  
ホームページに掲載するとともに、必要部数を印刷して配付した。
  - 草の根通信 86号(3月)
  - 草の根通信 87号(6月)
  - 草の根通信 88号(9月)
  - 草の根通信 89号(12月)
- 2) 活動報告書(アニュアル・アクティビティ・レポート)の発行、準備
  - ・ 2015年版発行(2014年2月)
  - ・ 2016年版準備
- 3) ホームページ、Facebookを通じた発信  
大会告知、ニュースレター、大会報告等を掲載した。

以上

公益財団法人ジョン万次郎ホイツフィールド記念国際草の根交流センター

## 平成28年度事業報告書 附属明細書

平成28年1月1日～平成28年12月31日

特になし。

- 参考資料として以下を配付
- － 奈良大会募集パンフレット(英文)
- － 草の根通信 90号(奈良大会特集)